



牧之原市長
杉本基久雄

活力と希望にあふれ
若者が魅力を感じるまちに

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年が、市民の皆様、そして牧之原市にとってさらなる飛躍の年となるよう全力で取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、全国的に自然災害が多い年でした。夏の記録的猛暑、大阪や北海道で起きた地震、台風・豪雨による被害など、日本中に大きな爪痕を残しました。

特に県内を中心に大きな影響をもたらした台風24号による長期停電は、改めて電気の重要性を考えさせるものでした。また災害レベルとも言われた猛

暑を受け、市ではエアコン未設置の小学校に対し、今夏までに全ての普通教室にエアコンを整備するよう進めています。

今年も平成最後の年となりますが、牧之原市にとっても郷土ゆかりの偉人「田沼意次侯」の生誕300年を迎える記念すべき年です。11月には「300年記念大祭」

を予定しており、稀代の政治家である意次侯を顕彰するとともに、この記念事業が、将来にわたって観光・産業の振興に繋がるよう取り組んでまいります。

牧之原市には、富士山静岡空港、東名高速道路、御前崎港があり、「ひと」「もの」の交流拠点としてのポテンシャルが高い地域です。富士山静岡空港では昨年、ター

ミナルビル増築・改修工事が完了しました。4月からは民間運営事業者による運営もスタートし、サービス向上や利用客の増加が期待されています。相良牧之原インターチェンジ北側における高台開発プロジェクトも、一括業務代行予定者が選定されたことで一歩前進しました。

また、4月からは「第2次牧之原市総合計画」の後期計画がスタートします。人口や経済が縮退する状況の中で、将来にわたり若者が魅力を感じることができ、持続可能なまちづくりを『市民総活躍』で進めていきたいと考えていますので、本年も市政へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から牧之原市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

一昨年10月の改選から、早いもので1年が過ぎましたが、この間に市議会では、「牧之原市議会基本条例」に基づいた議会改革を積極的に進めてまいりました。

政策立案については、議会内に政策立案推進部会を立ち上げ、新たな議会活動として、議員による条例制定の取り組みを積極的に進めてまいりました。また、提言については、これま

で幅広い視点からの提言書を積極的に提出し、デマンド乗合タクシーの試験運行、歯や口の健康づくり条例や中小企業・小規模企業振興基本条例の制定など、多岐にわたる施策の実現に結びつけてきました。今後も引き続き、積極的に提言を行ってまいります。

他市議会との交流連携の充実強化については、御前崎市議会と連携し、御前崎港へのクルーズ船寄港に向けての誘致活動、港の整備促進の要望活動を行うなど、今後、観光面をはじめ、様々な分野で協力・関係強化していくことを確認したところです。このことは、両市の良好な関係構築のためにも貢献できるものと確信をしています。ICTの導入については、事務

効率化のため赤外線マイクシステムを導入し、今後は会議録検索システム、タブレットの導入等、時代の流れに沿った事務体制の整備・構築を積極的に図っていきたくと考えています。

そして、いよいよこの5月には「平成」が終わり、新たな元号となり新しい時代が始まります。牧之原市議会におきましても、あらためて役割と責任の重さを自覚しながら、住民福祉の向上のために、さまざまな課題に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご支援をよろしくお願いしたいと存じます。

結びに、市民の皆様がますますのご健康とご多幸をお祈りして、年頭の挨拶とさせていただきます。



牧之原市議会議員
太田佳晴

役割と責任の重さを自覚し
課題に取り組む

謹賀新年

2019年 年頭のごあいさつ